

# 神立小学校の歴史

神立小学校は、昭和50年4月1日に上大津西小学校より分離独立しました。4月14日に開講式典が挙行され、現在この日が創立記念日となっています。開校時の児童数は481名、17学級でした。

昭和39年から41年にかけて実施された170haに及ぶ土浦・千代田工業団地の造成や都市化の進展に伴う人口増加と上大津西小学校への遠距離通学の問題等から地域より小学校新設が切望されていました。

開校した年に、校舎やプールが竣工され、初めてのPTA総会は校庭で行われました。児童数は年々増加し、昭和52年には校舎が増築され、9教室が増えました。

昭和54年には待望の体育館が完成し、特別教室及び屋内運動場の竣工式が実施されました。

神立小学校は都市部の学校としては珍しく学校林を敷地内に有しており、隣接する神立公園と併せて、学校全体が豊かな緑におおわれ、潤いある自然環境に恵まれています。校舎も大規模改修工事により、明るく清潔なイメージの校舎に一変しました。このような環境を生かして、神立小らしい地道な教育活動が展開され数々の成果を残してきました。

昭和56年から2年間は、文部省図画工作の研究指定校となり、58年には、「全国教育美術展学校賞」の荣誉に輝きました。

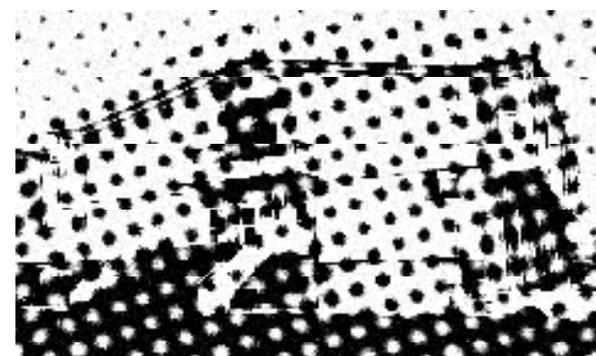
昭和59年には、児童数が963人になりマンモス化しました。そこで、昭和61年、4月菅谷小学校が創設され、本校より122名の児童が転校しました。児童数は791名となり、平成9年まで700名台で推移していました。



開校式典 S50.4.14



野外でのPTA総会 S50.4.22



体育館竣工 S54.11.24

昭和63年から3年間、土浦市教育委員会より理科教育研究指定校となりました。平成2年10月23日に理科教育研究発表会を行い、小学校における科学教育について、多くの示唆に富んだ実践を紹介しました。

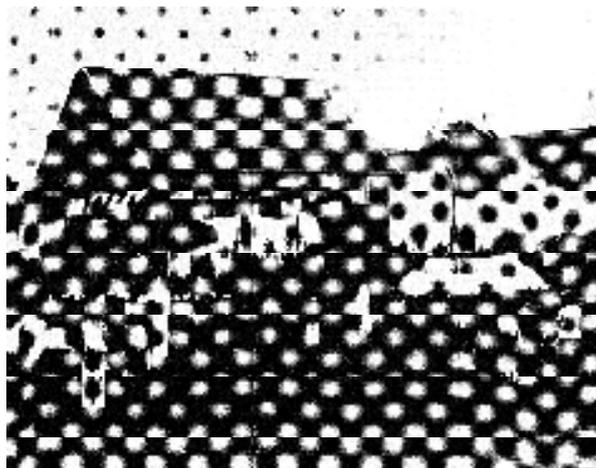
平成13年には、茨城県教育庁保健体育科より学校給食研究推進校に指定されました。現在も注目されている食育について、学校給食の立場から望ましい食の指導について研究に取り組みました。平成14年11月には「児童自らが健康について考え、実践する力を育む学校教育—学校・家庭・地域が手を携えて—」を研究テーマに実践的研究を推進し、学校給食研究発表会を実施し、多くの提言をしました。その成果が認められ、平成15年10月に「全国学校給食優秀校」として「文部科学大臣表彰」の荣誉に輝きました。

平成16年に創立30周年を迎え記念式典や記念誌発行等の記念事業が行われました。この中で学校林が整備され、「ハンカチの木」が子どもたちの希望の木として植樹されました。

教職員の教育実践の研究もさかんで平成16年よりこの10年間で「土浦市教育論文学学校賞」を8回も受賞しました。

平成26年度になり、神立小学校は創立40周年を迎えました。4月17日に「創立40周年記念集会」を実施し、6年生児童の発表をもとに40年の歴史を振り返りました。

保護者や地域の皆さんにしっかりと支えられ、今の神立小学校があることがよくわかります。



相撲場竣工 S57.5.7



20周年航空写真 H6.10



30周年記念植樹「ハンカチの木」